



茨城県常陸太田市

機械器具卸売業

人事評価制度の見直し

360度評価の実施

## 人事領域のパートナーである副業・兼業人材と共に、人事制度構築と社員のモチベーションアップを目指す

### 常北部品株式会社

地域事務局 ▶ 常陸太田市商工会

所在地	茨城県常陸太田市
設立	1952年
資本金	1000万円
従業員数	16名
事業概要	自動車部品、及び自動車関連商品卸販売業
業種	機械器具卸売業



#### 人事評価制度の構築に課題



##### 活用背景

現状の人事評価制度では定量的な評価しかできておらず、社員の成長を上手く促進できていないのではないかと**社長自身が不安を感じていた**。また社員のモチベーションアップと、よい良い職場環境作りを目指していたが、**社内にノウハウやリソースが足りておらず、実現できていない**状況であった。

#### 360度評価のトライアル実施



##### 取組内容

▶ 副業・兼業人材の提案で**360度評価をトライアルで実施**した。資料やフォーマットを基に、社長および社員2名と一緒に約3か月間で企画を立案した。  
また、**副業・兼業人材が社員向け説明や事前ワークショップを行い**、トライアルがスムーズに進むよう、社員の理解を深める体制を整えていった。

#### 人事評価制度に対する学び



##### 活動成果

▶ 360度評価を実施したことで、**自社に合っている取り組み(もしくは合っていない取り組み)の知識を実体験の中から得ることができた**。特に、社員評価の際に重視すべきポイントや、多数メンバーからの評価を得る際のリスクも知ることができ、**今後人事制度構築を検討するうえでの大きな経験になった**と感じている。人事領域について相談できる相手が元々少なかったため、今回の取り組みをきっかけに**人事領域のパートナーとして人材が存在してくれていることは大きなメリット**だと考えている。



## 常北部品株式会社

## マッチング人材



## 人材A(40代前半・会社員)

広告営業および企画、新規事業のマーケティング職として活動後、現在はパーパス浸透やDX/SDGs等、研修を提供する会社で営業+プロジェクトマネージャーとして従事。

## 期間・報酬・取組概要

期間	報酬合計	打ち合わせ頻度
2023年3月～ 11月	トータル 15万円	・月1回オンラインでの実施 ・メールや電話での相談は随時

## 活動内容詳細

## 360度評価のトライアル実施を行う

自社に合った人事制度を模索するため、副業・兼業マッチング事業に参画し、経営支援のプロジェクトマネジメント業務を行っている副業・兼業人材とマッチングが成立。副業・兼業人材の提案で360度評価をトライアルで実施した。副業・兼業人材が作成した資料やフォーマットを基に、社長および社員2名と一緒に約3か月間で企画を立案する。また、副業・兼業人材が社員向け説明や事前ワークショップを行い、トライアルがスムーズに進むよう、社員の理解を深める体制を整えていった。

## 人事評価のトライアル実施だけでなく、人事関連の課題や悩みにリアルタイムで相談

月1回のオンラインによる打ち合わせを行いながら、その他人事関連の悩みが出てきた際は副業・兼業人材へ相談している。また、360度評価のトライアル実施については、改良点等がないか話し合いを行いながら、今後の対応施策を検討した。

## 活動成果

## トライアルで着手をした360度評価に対する学び

人事制度構築に長けた副業・兼業人材の知識を活用しながら、360度評価を実施したことで、自社に合っている取り組み(もしくは合っていない取り組み)の知識を実体験の中から得ることができた。特に、社員評価の際に重視すべきポイントや、多数メンバーからの評価を得る際のリスクも知ることができ、今後人事制度構築を検討するうえでの大きな経験になったと感じている。

## 人事領域のパートナーとして、今後も人事制度関係について相談予定

人事領域について相談できる相手が元々少なかったため、今回の取り組みをきっかけに人事領域のパートナーとして人材が存在してくれていることは大きなメリットだと考えている。今後も副業・兼業人材と連携し、計画や進め方の相談を行いながら人事制度周りを強化していく予定である。



事務局担当者

企業の選定理由  
事務局視点でのコメント

人材が提案した人事制度構築のプランが、企業が想定した人事制度のイメージと近かった。また、人材の性格面(物腰が柔らかくでありつつも、重要なことは躊躇なく発言・表現をする点)にも魅力を感じ、マッチングが実現した。

支援機関の関わり方

企業の課題整理  
面談同席(常陸太田市商工会、株式会社パソナJOB HUB)

## 企業が感じていた課題の種類

- 1 商品・サービスの開発・改善ができない
- 2 人材育成が十分にできていない

## 企業が感じる成果の種類

- 1 雇用形態に捉われない人材活用の考えが広がった
- 2 従業員の満足度や会社への貢献性が高まった